

日時：平成29年10月13日(金)

会場：高崎シティギャラリー・コアホール

開場：午後6時 開演：午後6時30分

演 目

❑ 通 円【つうえん】

旅の僧が宇治橋のたもとに着き、見れば茶屋に茶が手向けられています。その者に訳を尋ねると、昔、通円という茶屋の亭主がおり、大勢の客に茶を点ててついには点て死にしたと言います。聞いた僧がねんごろに申っていると、そこに通円の亡霊が現れて…。能のパロディとしての性格を持つ舞狂言の中でも、最も原典の能「頼政」に近い作られ方をしています。

シテ【通円】山本 東次郎 アド【僧】山本 凜太郎

アド【所の者】若松 隆

笛 藤田 貴寛/小鼓 住駒 充彦/大鼓 佃 良太郎/太鼓 小寺 真佐人

❑ 胸 突【むねつき】

貸した金の催促に、日頃は使いの者をやっていたが、居留守をつかって返してもらえません。今日は自分が出かけ借り手の家までやって来ましたが、また居留守をつかって逃げようとし、その上、巧みに弁解を重ね返そうとしません。貸し手は業を煮やして、今日こそは家に連れ帰って払わせようと、腕ずくで借り手の腕を引きますが、大げさに「痛い、痛い」と騒ぎ出し…。

シテ【借手】山本 則孝 アド【貸手】山本 泰太郎

❑ 素 囃 子 神 舞

囃子方(笛方、小鼓方、大鼓方、太鼓方)だけで囃子事を演奏すること。神舞は、脇能(神をシテとする曲)で、天下泰平を祝う心で舞う颯爽とした舞。

笛 藤田 貴寛/小鼓 住駒 充彦/大鼓 佃 良太郎/太鼓 小寺 真佐人

❑ 朝 比 奈【あさひな】

人間が利口になり、皆、仏道に帰依して極楽へ行ってしまうので、地獄はすっかり窮乏の有様。困った閻魔王は自ら六道の辻に立ち、罪人を捕らえて地獄に攻め落とそうと待ち構えます。そこへやって来たのは天下無双の剛勇・朝比奈三郎義秀。閻魔王の力もまったく齒が立ちません。あきらめた閻魔王は朝比奈に…。

シテ【朝比奈】山本 則秀 アド【閻魔王】山本 則重

笛 藤田 貴寛/小鼓 住駒 充彦/大鼓 佃 良太郎/太鼓 小寺 真佐人

❑ お 話 山本東次郎 重要無形文化財各個指定(人間国宝)

入場料 一般 4,000円 会員 3,500円 学生席 1,000円

お申し込み・お問い合わせ

■(株)コーエイ・エージェンシー(旧株)至誠堂 027-323-7417

■マツダマネジメントセンター 027-362-2511

■市川会計 027-323-9721 ■箕郷不動産 027-371-2332

●狂言を観る会 ホームページ ● <http://kyogen-miru.blogspot.jp/>

【主催】狂言を観る会 【共催】たかさき能実行委員会

【後援】高崎市・高崎市教育委員会・(一社)高崎観光協会・
ホテルメトロポリタン高崎

一 狂言を観る会 一

初めて囃子方参上!

大蔵流山本家

狂言二百曲全曲公演

● 第四十回 記念公演 ●

共催 たかさき能実行委員会